



2024年2月27日

Vale/PT Vale Indonesia の主要株主の皆様へ

ソロワコ・ニッケル開発事業地周辺における 現地コミュニティの基本的な人権に関する最新状況について

私たちが 2023 年 10 月にソロワコ現地での人権状況をあなた方にお伝えして以降、4 ヶ月以上が経ちましたが、その間、依然として現地での問題の根本的な解決には至っていないことについて、私たちは深い憂慮の念をお伝えします。

中でも、私たちの最大の懸念は、現在、中断されている PT Vale Indonesia (PTVI) によるタナマリア鉱区における探査活動がこの来る 3 月にも再開されるとの情報が現地で流れていることです。

PTVI のタナマリア鉱区における探査活動の許可 (IPPKH: Ijin Pinjam Pakai Kawasan Hutan/森林地域借用使用許可) は 2023 年 10 月 3 日に期限が切れていると理解しています。新たな許可の発行状況については、依然として当局である環境林業省 (KLHK) に照会中ではありますが、私たちは、以下に述べるとおり、PTVI がタナマリア鉱区における探査活動も採掘活動も行えるような状況は整っていないことを強調します。

まず、PTVI はロエハ・ラヤの胡椒栽培に従事する農家や女性との適切かつ有意義で、双方向の話し合いの場を依然として持ってきていません。こうした場が設けられるよう、私たちはあなた方株主に PTVI/Vale へのエンゲージメントを行うよう要請してきたにもかかわらずです。

PTVI のロエハ・ラヤの農家や女性へのこのような対応は、移転と補償措置に関して Vale が遵守している世界銀行グループ国際金融公社 (IFC) の「環境と社会の持続可能性に関するパフォーマンス基準」(PS) に関し、少なくとも以下の表で示した点において違反しています。

IFC PS の該当箇所及び規定内容	IFC PS に違反している現場の状況
<p>PS 1「環境社会リスク影響の評価と管理」</p> <p>ステークホルダーエンゲージメント</p> <p>パラ 26</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダー分析を行うこと <p>パラ 27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的に脆弱な被影響コミュニティが効果的に参加できるように配慮したステークホルダーエンゲージメント計画を策定・実施すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTVI は 2022 年初頭に探査を始める前から現在まで、女性を含むコショウ農家や農業労働者、そしてコショウ関連の経済活動に従事する人びとなど多くのステークホルダーの把握や分析をできていない。 ・ PTVI は 2022 年初頭に探査を始める前から現在まで、女性や農業労働者など社会的に脆弱な立場におかれているコミュニティが協議や意思決定プロセスに適切に参加できるように配慮を行っていない。
<p>PS 1「環境社会リスク影響の評価と管理」</p> <p>情報公開</p> <p>パラ 29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (i) 事業目的・性質・規模、(ii) 提案されている事業活動の期間、(iii) コミュニティに対するリスク及び潜在的な影響と緩和策、(iv) 想定されるステークホルダーエンゲージメントのプロセス、(v) 苦情処理メカニズムといった関連情報への被影響コミュニティのアクセスを確保すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTVI は 2022 年初頭に探査を始める前から現在まで、左記(i)~(v)に係る情報の適切な公開をコショウ農家らに対して行ってきていない。
<p>PS 1「環境社会リスク影響の評価と管理」</p> <p>協議</p> <p>パラ 30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業のリスク、影響、緩和策について、被影響コミュニティが意見を表明する機会を提供し、事業者がそれら意見を考慮して対応できるような方法で、協議プロセスを実施すること ・ 被影響コミュニティとの効果的な協議は、外部からの操作、干渉、強制、脅迫のない双方向のプロセスであることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTVI は 2022 年初頭に探査を始める前から現在まで、コショウ農家らが意見を表明できる適切な機会を提供できていない。 ・ PTVI は抗議の声をあげているコショウ農家らに対する軍人や警察官の関与を許容する形となっており、双方向のプロセスによる効果的な協議を行うための素地を損ねている。

<p>PS 1「環境社会リスク影響の評価と管理」</p> <p>情報を提供した上での協議及び参加</p> <p>パラ 31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を提供した上での協議及び参加プロセスの実施 ・協議プロセスは、必要であれば、個別のエンゲージメントを通して、男性及び女性の両者の意見を把握し、適切であれば、影響、緩和メカニズム、便益に関する男性及び女性の異なる懸念や優先事項を反映すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTVI は 2022 年初頭に探査を始める前から現在まで、コショウ農家らへの適切な情報提供をできておらず、また適切な協議や参加の機会も提供できていない。 ・ PTVI は 2022 年初頭に探査を始める前から現在まで、特に女性の農家らに配慮した協議や参加の機会を提供できていない。
<p>IFC PS 5「用地取得及び非自発的住民移転」</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替案の検討を通じて移転を回避すること。回避が可能でない場合には、移転を最小化すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTVI は農家の立退きを前提とした対応しかとっておらず、農家の移転や生計手段の喪失をまず回避するという努力を怠っている。

ロエハ・ラヤの胡椒農家や女性は一貫して、PTVI の鉱区から彼らの胡椒畑が除外されることを切に願っており、その要求は今も変わっていません。あなた方は株主として、PTVI/Vale が国際規範に沿わない探査活動や採掘活動を行うことを看過すべきではありません。私たちはあなた方がしかるべき対応／エンゲージメントを PTVI/Vale に対して行うことを要請します。

一方、アスリ村の住民が生活用水／飲料水として利用していた湧水の汚染については、PTVI が用意した井戸からの水配給が開始されていますが、清潔かつ安全な水を必要としているすべての世帯には同水が届いていない状況が続いています。住民からは再三新たな井戸の設置を求める声が PTVI に対して上げられているとのことですが、PTVI の対応は再度遅々としたものに留まっています。

上述のタナマリア鉱区における状況及びアスリ村の状況については、Vale Base Metals の指示を受けたコンサルタント会社 (twentyfifty Ltd) が 2023 年 11 月にソロワコ地域を訪問し、コミュニティとの面談を行ったと理解しています。そして、ロエハ・ラヤの農家と女性、またアスリ村の住民の要求事項は、同コンサルタントがしっかりと把握し、Vale Base Metals にも伝えられているはずで

あなた方株主にも、PTVI/Vale を通じて、すでに同コンサルタント会社の調査内容や結果は共有されているのでしょうか。同コンサルタント会社が聞き取った住民の意見が正確に記述・報告され、同コンサルタント会社が住民のための提言を行っているか、住民自身を含め、第三者が精査できるよう、同コンサルタント会社の調査報告書は公開されるべきです。あなた方株主としても、PTVI/Vale が同報告書を公開するよう、しかるべきエンゲージメントを行ってください。そもそも、私たちがコミュニティから聞いた話によれば、同コンサルタント会社の独立性や調査方法には問題点が散見されます。まず、同コンサルタント会社の調査が Vale からの指示を受けたもので、調査費用も Vale が賄っているのだとすれば、その時点で、同調査の独立性が疑われます。また昨年 11 月の調査にあたり、同コンサルタント会社は、ある住民グループとの面談

の調整を PTVI を通じて行ったり、PTVI の所有する交通手段を利用したり、（面談そのものには立ち会わなかったものの）警察等の当局が同行したりしていたとのことです。さらに訪問期間が限られていたことから、一部の農家や住民のみとの面談に終わってしまい、より多くの農家から意見を聴取するなどより包括的な調査を行うことは難しかったでしょう。

したがって、私たちは、PTVI/Vale の株主であるあなた方が、PTVI/Vale の説明や同コンサルタント会社の報告書を鵜呑みにするのではなく、現場の状況や住民の意見・要望を慎重に精査するよう要請します。株主として、PTVI/Vale が国際規範に沿わない探査活動や採掘活動を行うことがないように、しかるべき対応／エンゲージメントを PTVI/Vale に対して行うことを強く要請します。私たちは、4 月に開催される定時株主総会で、あなた方株主が（PTVI/Vale に）当該問題について説明責任を果たすよう求める一方で、タナマリア鉱区における探査が 3 月に開始される予定であると伝えられており、緊急の対応が迫られていることも改めて強調します。

WALHI South Sulawesi
Wahana Lingkungan Hidup Indonesia (WALHI / FoE Indonesia)
Friends of the Earth Japan
Pacific Asia Resource Center, Japan

連絡先：

WALHI South Sulawesi (Muhammad Al Amin, Executive Director)
Add: JL. Aroepala, Kompleks Permata Hijau Lestari Blok Q1, No.8, Rappocini, Kota Makassar, Sulawesi Selatan 90221
Email: muhammad.al.amien@gmail.com / walhisulsel@gmail.com
Tel: +62-8229-3939-591

国際環境 NGO FoE Japan（担当：開発金融と環境チーム 波多江）
住所: 1-21-9 Komone, Itabashi-ku, Tokyo, Japan 173-0037
Email: hatae@foejapan.org
Tel: +81 3 6909 5983